

がんばろう 南三陸町 復興第86号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
企画・編集
志津川広報センター

台風19号被害氾濫現場 〈小森・御前下地区〉 10月13日



大震災後に造られた仮橋に河川の草木が引っかかり国道398号が冠水となった。

上流からの雨水により河川の草がなぎ倒され橋に引っかかった(伊東屋スタンド前)



志津川IC入口のスタンドも大きな被害がでた。

小森神社の丘で別れるように八幡川が溢れた。



八幡川の氾濫により御前下商店街にドロ水が流入し後片付けに追われていた。(14日)



三陸道は各所ガケ崩れ発生

八幡川の氾濫で商店街の裏の側道にもドロ水が流入した。

〈志津川大上坊地区〉



大上坊の民家の裏山から崖崩れと倒木被害。

三陸道の橋脚の部分が雨水により浸食され、通行止めとなり復旧工事。

〈歌津地区〉

田表地区に臨時の被災ゴミ置き場が設置された。



田表で建物の基礎部分が流出し、工場が傾いた。



入谷1号線から田畑へ向かう橋が崩落した。

〈入谷地区〉



入谷横断1号線の小森入口の自動車钣金店前の電柱が激流で倒壊し店内にもドロと雨水が流入した。



小森の熊田橋にも大木が引っかかったまま(14日)



国道398号線も八幡川が大きく道路を削った(桜沢)



喜寿(77才)の166人が仲間入り

南三陸町令和元年度敬老会

9月24日~26日の3日間において、南三陸ホテル観洋を会場に令和元年度敬老会が、賑やかに開催されました。24日は戸倉地区の257人と入谷地区の416

人の合同で、25日に歌津地区の759人、26日は志津川地区の1028人、合計で2466人が敬老の祝いを迎えた。男性が902人と女性が1558人で、女性の平均年齢が世界一高齢化を持続している。(年齢は令和元年度現在で、人数は令和元年8月1日現在の住民台帳によるもの。)



志津川地区の敬老会開会の初めに、佐藤町長が挨拶を述べ、志津川地区で敬老会の仲間入りの喜寿の方々は「166人」であり、1028人のうち「319名」が出席した。日本の平均寿命は、男性81.25才・女性87.32才であり、100才以上が約7万人を超えた。祝いの挨拶では「幸せな毎日を送っていただきたい」「子育て、地域づくりに尽力され、大正・昭和・平成と平和と豊かさがあるのは皆様のおかげ」「お互いの近況を語りながら、ゆっくりくつろいで下さい。」と話した。

記念品贈呈では、志津川地区代表は高齢者の仲間入りした73人を代表して、西ヶ丘地区の阿部さんが77才の「祝詞」を受けた。他の地区では戸倉地区19人、入谷地区29人、歌津104人となった。



三浦議長は「精神力と忍耐力を後世に伝えてくれた」「一人暮らし公営交通、福祉施策の中で、公共交通の利便性など課題解決に取り組んでいる。」「経験と技能を我々に指導いただきたい」「笑顔のたえない日々が末永く続くことを祈念します。」と祝いの言葉を送った。

最高齢は志津川地区の女性で102才となる。100才以上は14名を数える。

お祝いの宴では、南三陸大正琴の会8名や趣味で活動する踊りの会の皆様、カラオケ自慢の方々が敬老会の祝いの席に華を添えてくれた。

未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない

令和元年(2019年)

6月の出来事

~ 地元報道より ~

南三陸町

◆南三陸町が進めてきた、行政区再編が完了。震災前74あった行政区を69行政区に再編した。防集団地や災害公営住宅などの区域に新設されたのは10行政区、既存の行政区を統合したのは4行政区、歌津地区は、すべて既存の行政区に組み込んだ。

◆教育旅行で南三陸町を訪れる台湾の学校が増えている。受け入れが始まったのは15年からで、本年度は過去最大のペース。

◆4日南三陸町総合体育館「ベイサイドアリーナ」で、第71代横綱・鶴竜関が復興への願いを込めた力強い土俵入りを披露した。2011年6月に志津川中を会場に横綱・白鵬関が披露して以来、2度目となる。

◆南三陸町生涯学習センターが、オープンから1カ月で約3500人が利用した。図書館は旧施設(コアラ館)だった昨年の同期と比べて、約3

倍に増えた。

◆4日南三陸町は、新たな地域おこし協力隊員に仙台市出身の女性を任命した。現役で10人目の隊員となる。有害鳥獣対策や志津川湾での調査を通じた、自然を生かした環境教育メニューの構築などを担う。

◆南三陸町議会6月定例会は、11日に開会する。報告4件のほか、23議案を審議する。一般質問は7氏が通告している。

◆8日、南三陸町志津川の松原干潟で志津川高校自然科学部の生徒らが生物調査を行なった。希少種もあり、過去2年の調査では計97種の生き物が見つかった。

◆9日南三陸町入谷のひころの里で、「ひころマルシェ」が開かれた。会場には県内外から最も多い58ブースが出店した。毎年初夏と秋の2回開いていて、今回が8回目となる。

◆南三陸町入谷「椎彩杜」が、乾燥シイタケを原料にした調味料を発売。「椎茸出汁しょうゆ」「椎茸の洋風ソース」で、しょうゆ・ソースともほんのりとシイタケの風味がするまろやかな味わいで、1本200ml入り、税込600円で発売されている。

◆南三陸町の平成の森球場に11日、埼玉武蔵ヒートベアーズの選手たちが「熊谷桜」を植樹した。球団と町との交流や復興を願って行なわ

れた。

◆南三陸町は14日、担当する業務で不適正な事務処理を行うなどした、地域包括支援センターの20代男性と企画課の20代女性を戒告の懲戒処分にした。監督責任として、男性の上司だった当時の課長級(50代)を口頭注意、係長級(50級)を文書厳重注意とした。女性の上司だった課長級(50代)、係長級(40代)を口頭注意とした。

◆15日南三陸町歌津伊里前地区で、国道45号復旧事業などに伴う現地説明会が雨の中開かれた。国道45号の現場や、伊里前川の河川堤防を歩きながら説明を受けた。完成時期については、2020年度末の完成を目指していると話していた。

◆南三陸町は、東京電力福島第1原発事故で汚染された牧草について、9月に入谷地区の民有地にすき込み処理を行う方針を、町議会6月定例会で明らかにした。

◆南三陸町議会6月定例会は17日の最終日、議案審議を続行し、10議案を可決し閉会した。祈念公園の開園時期については、一部を今年12月に、来年9月に完成する八幡川沿いを除く、ほかのエリアを来年3月11日までに整えたいとの意向を示した。